

UI-27 ABC UTⅢ

θ-Z 軸超音波画像処理装置

検査材の全波形データを高速収録し画像化処理する装置です



概要

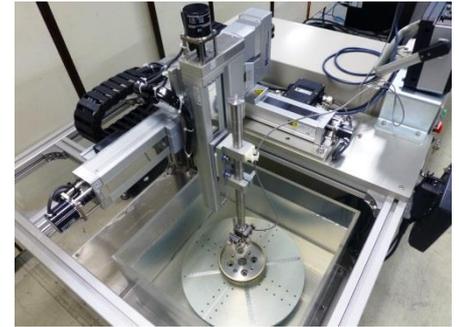
- 超音波を用いて検査材内部を非破壊検査し検査データ（全波形データ）を画像化処理する装置です。
- 溶接部や接合部の評価、介在物やボイド、クラックの検出、複合材の構造物解析などを行うことができます。
- 4軸制御を行いX-Y軸平面スキャン、θ(回転)-Zスキャンによる円筒検査材の画像化を行うことができます。
- 操作パネル(GOT)により機器操作を行い、基本設定、画像結果の表示・解析はPC画面上で行います。

特長

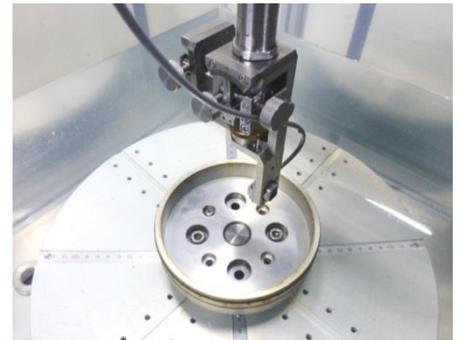
- 全波形データを保存している為再ゲート設定等の表示条件の変更が発生しても再スキャンすることなく、再画像化処理が可能です。
- 再画像結果から波形の確認、解析などが素早く簡単にできます。
- 同一画面上にA,B,Cスコープ及びE Hモニターを表示することで、画像結果の解析が容易にできます。
- 画像結果の解析に用いる豊富なオプション機能が準備されています。

仕様

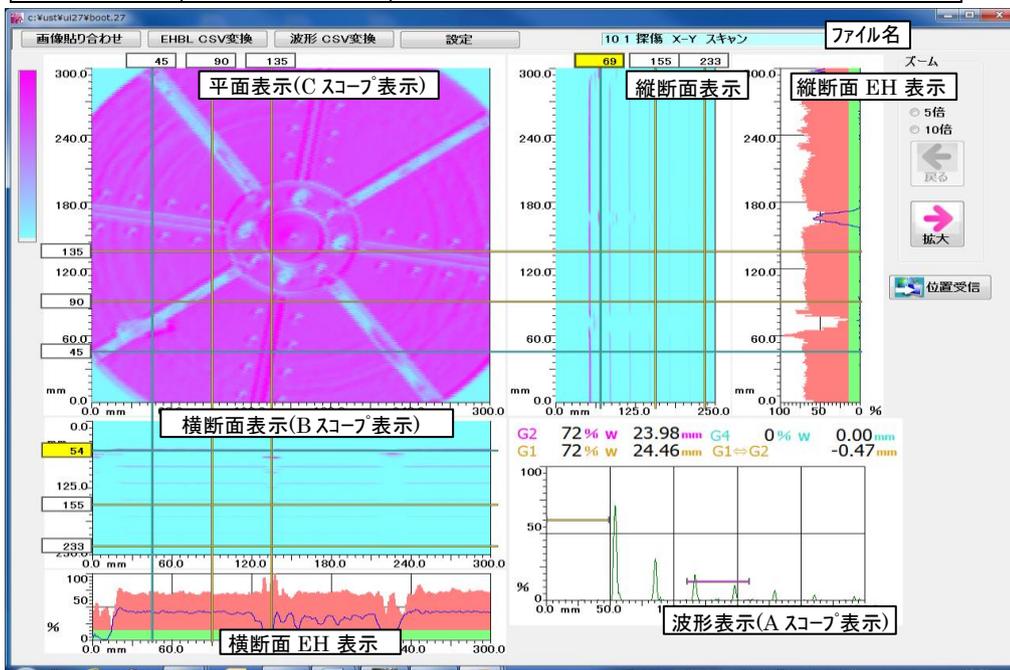
全体仕様	外形寸法	約 1120(W)×935(D)×1286(H) mm
	質量	約 290Kg (水,PC 関係含まず)
	水槽寸法	約 470(W)×470(D)×330(H) mm
	電源容量	A C 100V±10%、10KVA
探傷関係	探傷器	デジタル超音波探傷器 UI-27
	対応周波数	0.25~25MHz
機構部仕様	駆動軸	X軸、Y軸、Z軸、θ軸 (回転)
	最大走査範囲	X : 300× Y : 300× Z : 200 mm
	最小分解能	0.1mm
	最大スキャン速度	300mm/s (条件による)
	最大試験片寸法	φ 300×150mm (10kg 以下)
標準機能	表示方法	エコー高さによる諧調表示
	スキャンパターン	X-Yスキャンモード、θ-Zスキャンモード
	画像表示	A(波形表示)、B(断面表示)、C(平面表示)スコープ表示
	波形保存機能	スキャンした全波形保存
	再画像化機能	画像結果上のゲート変更により再画像化を行う。
	波形確認機能	画像結果上の波形を表示する。
	ズーム機能	画像結果の拡大を行う。
	欠陥面積率機能	画像結果上の指定したエコー高さの割合を表示する



ターンテーブル(θ軸)



探触子ホルダ(例)



探傷結果PC画面